

第5回総合計画審議会での意見概要

基本計画の全般的なことについて

区分	委員意見・質問等
用語解説	用語説明等の注釈については、それぞれの単語がどのページに表されているかページ番号等を表記した方が分かりやすいのではないか。

各施策について

【2】生きる力を育む幼児教育・学校教育の推進

区分	委員意見・質問等
全体	ありたいまちの姿には「やりたいにつながる多様な学びで～」とあり、市民一人一人を大切にしていることが感じられるが、施策内容では全体のことが記載されており、個人に対しての取組や記載が少ないのではないか。
全体	記載順番を①学力、②豊かな心、③健やかな体となっているが、まずは、心を育んでから、学力ではないか。文部科学省の順番に合わせるのではなく、朝来市ならではの出しでも良いのではないか。①と②の掲載順を入れ替えるのが良い。
①イ	「キャリア教育」「授業のユニバーサルデザイン化」とあるが、分かりにくい。用語説明はあるにせよ、具体例を入れたり、市民に分かりやすい表現に改めたりした方が良いのではないか。
①イ	一貫性のある教育では、均一化の弊害もある事から、個人そのものをどう意識するかが重要ではないか。朝来市で生まれた子どもたちがこども園から小中学校までカルテの様な子どもの特性が分かるものがあると良い。
①イ	ユニバーサルデザイン化は均一化・バリアフリー化のイメージが先行するが、個別に対応しているということなのか。
①イ	授業のユニバーサルデザイン化のイメージがしづらい。「自立して社会参加するために必要な力」は「主体性をもち、自己肯定感や自己有用感を高めること」ではないか。
①イ	朝来市総合計画には「ユニバーサルデザイン化」という表記はなくてもよいのでは。
①イ	現状と課題で「発達段階を意識した一貫性のある指導につなげていくことが大切」とあるが、これに対して、この事業方針が適切か。現状と課題と実施方針が一致するよう説明が必要ではないか。(現状と課題は大観での記載となっているが、事業実施方針は各論的なことの記載となっている。)
①ウ	外国語へのふれあい機会としてALTを実施方針で挙げられているが、在住外国人との交流等を取り入れてはどうか。(豊中市で実施されている。)

②イ	現状と課題に「地域とつながる機会が少ない」とあるのに対して、事業実施方針がずれているのではないかと。地域とつながる機会として、もっと市民の参画に関して記載してはどうか。
②イ	幼少期から義務教育期間において、自己肯定感を育むことがとても大切なことだと思うが、その重要性について感じられない。現状と課題及び事業実施方針に記載が必要だと思う。
③イ	「食品ロスに対する意識や食の安全安心」とあるが、食生活や食品ロスについて親の知識・理解力が不足している場合もある。子どもたちへの啓発も大切だが、家庭への啓発も必要なのではないかと。
役割分担	市民の役割分担として、地域と関わる機会の創出について追記してはどうか。
施策指標	指標全体として個人の成長や目標が分かりにくい。ありたいまちの姿に「やりたいにつながる」とあるので、「やりたいが見つかる」ことに対する指標があっても良いのではないかと。
施策指標	②イで「自己肯定感」「自己有用感」とあり、日本としては「自己肯定感」が世界的に低いため、朝来市として力を入れてやっていくというのであれば、施策指標に自己肯定感・有用感を含めた方が良いのではないかと。他との比較もできるだろう。
施策指標	②を「自分に良いところがあると思う児童生徒の割合」に変更してはどうか。市民がどう思うかよりも、児童生徒がどう変わったかが成果ではないかと。

【3】多様な学びを支える教育・学習環境の整備

区分	委員意見・質問等
全体	「【2】生きる力を育む幼児教育・学校教育の推進」では地域教育について記載があったが、「【3】多様な学びを支える教育・学習環境の整備」にはない。地域教育の体制づくりの記載があったほうが良いのではないかと。相談できる場所としての一文が入るだけでも大きく違うと思う。
①ア	「能力・可能性を最大限に伸ばす環境整備が課題として挙げられているが、具体的にはどのような内容か。具体的に記載する方が分かりやすい。
①イ	「GIGA スクールサポーター」等の言葉が分かりにくい。括弧書きでも良いので、本文中に説明を記載するのが良いのではないかと。
①イ	オンラインを徹底するなら家庭環境による子どもたちの格差ができないよう配慮が必要ではないかと。それに関する記載があった方が良いのではないかと。
①エ	「適応指導教室」は学校に戻すための場所なのか、学校に戻すことを前提していない場所なのかによって幸福度や自己肯定感が変わってくると思うがどう考えられているのか。用語解説も追記してほしい。
①エ	適応指導教室に通えない子どももいるので、適応指導教室で終わりではなく、家で勉強したり、違う場所に行けたり、次のステップに進めることも記載いただけると良いのではないかと。

役割分担	「多様な教育の在り方を認める柔軟性を持つとともに、「共に創り上げる」という思いを持ち、学校園と連携・協力することが望まれます」という表現では、今の朝来市民が出来ていない様にとらえられる。表現の仕方を検討する必要があるのではないか。
施策指標 ②	先生が ICT 機器を使う事よりも、子どもたちが情報活用能力をアップさせる方が重要ではないか。子どもたちの自己判断でも良いので、子どもたちの情報活用能力を測る指標があるといい。
施策指標 ③	目標値はもう少し高い方が良いのではないか。50%くらいにならないか。
その他	行政として各学校の先生の状況等学校現場の実情を把握し、先生の得意不得意も見極めて適切に人材配置等の対応が必要だと思う。
その他	子育ては終わったけど子どもたちと関わりたい熱意を持った方を公募するような選定方法や活動の周知が必要ではないか。
その他	フリースクールへの通学の通学補助を検討していただきたい。フリースクールを通学と認められないと定期は発行できない。定期が認められると親は助かる。

【4】 まちにも生きる生涯学習・スポーツの推進

区分	委員意見・質問等
①ア	「参加者に偏りがある」と記載されているが、知らない人も多い。情報発信の仕方考えたほうが良いのではないか。
①ア	「参加者に偏りがある」と記載されているが、現状維持か参加者を増やすことのどちらを目指されているのか。
①ア	参加者を増やすためには、市民ニーズの把握が必要である。企画は誰が行っているのか。長野県飯田市の公民館活動が素晴らしいのは地域の方がアイデアを出して活動されている。市民がアイデアを出して企画する等も良いのではないか。
②	e スポーツを検討する必要はないか。
ア	よい図書館だが小学生にとっては歩いていけない距離である。親が子どもを連れて行きたいと思う様なイベントや、行けなくても家で楽しめるオンラインイベント、近所に来てくれる移動図書館等、子どもたちが身近に本を感じられるような取り組みをしてもらいたい。
③ア	市民からの図書購入希望があるかと思うが、どのくらい購入しているのか。
③イ	オンライン活用という意味では図書館で電子図書の購入はどうか。
③イ	学校にある図書は少ないので、図書館の本を学校に貸し出すだけでも子どもたちは新しい図書を読むことができる。学校側との連携等を本文中に記載いただけるとよいのではないか。
施策指標	「定期的にスポーツを行う市民の割合」、「図書館入館者数」は成果指標ではないのではないか。その先のアウトカム指標が必要ではないか。

その他	「まちにも生きる生涯学習・スポーツ」とは、自分の学びの機会や心身の健幸のための時間のことかと思う。健康推進でウォーキングマイルが実施されている様に、学びのマイル等、学びの機会を活かせる仕組みづくりを実施方針に記載できないか。
-----	--

【7】 内発的な経済循環と多様な働き方の創出

区分	委員意見・質問等
全体	外から来られる事業者への支援はよく聞く。経済循環を外的要因に頼っているニュアンスを感じるが、もともと朝来市には多くの事業者さんがいる。既存事業者に対して、伝わりやすい方法や施策はないのか。
①イ	事業継続計画とはどんなものか。また、取組に対する支援とは具体的にどのようなことか。
②ア	生涯現役社会において高齢者の雇用は大切な視点であり、企業の戦力としての高齢者の雇用支援策について記載が必要ではないか。施策【20】の①アでも就労を通じた健康づくりに触れているが、時代にあわせてもう一步踏み込んだ考え方が必要である。
②ア	多様な働き方を実現するのは行政ではなく事業者だが、社内で実現していくのは非常に難しいのが実態。行政には、同じ分野でうまくいっている事例を具体的に教えてもらうような支援をお願いしたい。 また、働き方改革のための経営者セミナーのチラシをよく見るが、魅力的ではなく、参加につながらない。経営者が集まる会議等で、多様な人が参画する職場づくりの成功事例を自然に知ることができると良い。
②イ	サテライトオフィスの開設の支援について、誰がアプローチするのか。従業員の住む場所へのサポートもあり、市が主体的に取組ことが適していると考えますが、どのように進めるのか。
③ア	文中の『起業しようとする者』の「者」の表記は行政でよく使われるが、「人」にした方がよいのではないか。上から目線に感じる。
その他	新規起業件数が施策指標としてあげられているが、廃業件数が増えていっているのが実態。移住者への事業承継も含めて、廃業を抑えていく施策が考えられないか。

【8】 まちの力になる観光の振興

区分	委員意見・質問等
①エ	第2次総合計画にもそれを受けて策定した観光基本計画にも、朝来市版DMOと明記されているので、その表現を使うべきではないか。 朝来市版DMOをつくることを前提として、それを中心にどのように観光地域づくりを推進するかというスタンスでの記載のほうが良いのではないか。

②ア	観光入込客数は激減している。コロナ禍でどこから始めるかという、訪日外国人より、まずは京阪神や近畿圏からの国内観光客の回復を目指すべきではないか。コロナ禍やその後を見すえて、先に国内の市場を見つつ、訪日外国人の取組みもスタートしていくと二段構えにしてはどうか。
②ウ	まだ埋もれている観光資源を発掘するとは、具体的にどんなことか。
施策指標 ①	観光入込客数はどのように調べているのか。
その他	平成30年や令和元年など、コロナが始まる前も観光入込客数は減っていたのか。コロナで観光客が激減したのはあたりまえだが、コロナ前も少しずつ減っていたのであれば、目標値を達成するために、コロナ禍前以上に新たな工夫が求められる。これからはもっと体験交流などさらに力を入れていく必要があるのではないか。

【9】時代にあわせた農畜産業の振興

区分	委員意見・質問等
②	施策指標③では耕作放棄地面積を設定しているが、施策の考え方としては耕作放棄地を減らそうとしているのか、非農地判定を増やして分母を減らそうとしているのか。
③イ	ブランド化して販路を開拓する支援はあるとして、野菜などは価格が乱高下するが、市の施策として何か考えているか。
施策指標	施策概要にあるような「儲ける農業」に対応した指標はないのか。
その他	農業をやりたい人が簡単に農地を買えないのか。

【10】自然を守り活かす林業の振興

区分	委員意見・質問等
②	全面積の84%が山という朝来市において、林業の担い手づくりをもっと重要課題にしたほうが良い。林業にも新規就農者制度のようなものはないのか。
③	真に木材の利用を促進するのであれば、個人の家庭よりも、公共施設から薪ストーブにするほうがよいのではないか。豊岡市は学校を薪ストーブにしていると聞いたことがある。
③イ	木質バイオマス発電に活用されている朝来市からの間伐材はどれくらいか。
施策指標	林業労働者数が56人ということだが、民間も含めての人数か。平均年齢はどれくらいか。

役割分担	<p>市民は積極的に地元産材を活用することが求められるとあるが、地元の木を使いたかったら工務店に言えばよいのか。また、薪ストーブの補助金はあるのか。</p> <p>林業と市民がどのように普段の生活で補えあえるのかが大切。補助金を知っていたら購入を考える人が増えるかもしれない。情報を知っていたら市民も取り組みやすい。</p>
その他	<p>山際の農地を山判定にした場合、農地ではない農地ができるが、そこには植林を促すのか。</p> <p>どんどん山際が迫ってくると、水に対して恐怖心が生まれるが。</p>
その他	<p>森林環境譲与税は何に使えるのか。どのように算定されているのか。</p>
その他	<p>学校での林業に関する体験学習などは実施されているのか。</p>

【11】 人の営みとともにある自然との共生

区分	委員意見・質問等
全体	<p>施策名は「人の営みとともにある自然との共生」であるが、施策の内容がオオサンショウウオやコウノトリとピンポイントな内容になっている。もっと大きな話があると議論しやすい。</p>
①イ	<p>外来生物とは具体的にどんなものか。種類ごとに調査をするのか。</p>
②	<p>外部から特別天然記念物を見に来られる方に対して、なにがしかのルールがあったほうがいいのではないか。</p>
②	<p>自然環境や生態系と、そこでの市民の普段の暮らしは、密接に関係がある。東河地区では自然環境と人間の暮らしに注目した農業者のおかげで、ゲンジボタルが復活したなどの話も聞く。ただ自然を保全しようというのではなく、豊かな自然は何からつくられているのか、自分たちの暮らしとどのようにつながっているのかということ子ども達に教えるのが大切。そういったニュアンスを追記したほうが良い。</p>
②ウ	<p>「観光プログラム等」とは観光交流課と協調したものになるのか。</p>
役割分担	<p>個人では自然環境の保全活動に取り組みにくいかもしれないが、「無農薬野菜を選ぼう」など、購買に関する文言として入っていると、市民が役割を果たしやすいと考える。</p>

【13】 市民力を高める協働のまちづくりの推進

区分	委員意見・質問等
①ア	<p>「多様な人が自分の得意なことを活かしながら「やりたい」にチャレンジ」とあるが、「やりたい」をどの様に把握し、どのようにマッチングをするのか。どうやって「やりたい」を見つけるのか。</p>

①ア	「市民活動」とあるが、その定義はあるか。どの範囲の事を示しているのかイメージが分かりにくい。
①ア	「誰もが気軽に参加でき、対話ができる場」とあるが、参加した事がない人にはどんな場なのか分かりにくい。具体的な会議名などの文言を入れるなど、もう少しイメージしやすい表現にしてはどうか。
①アイ	①ア、イの内容は、地域自治協議会と一緒に取り組んで行くことが大切ではないか。また、地域自治協議会ごとの差が出ないようにフォローする事も大切ではないか。
①イ	「手法」とあるが、その表現には違和感がある。「方法」や「やり方」という言葉の方が良いのではないか。
①イ	「人と人、人と地域をつなぐコーディネーター」とあるが、既に実施している取り組みか。
①イ	「コーディネーターの育成」とあるが、育成するだけでなく、「設置する」ことが必要ではないか。
①ウ	「活動スペースの提供が求められている」とあるが、使用申請方法が限られており、土日などの休日にできない。インターネットでも申請できるようになれば活動スペースも利用しやすくなる。使用申請方法を改善できないか。

【14】 多様な人がつながる地域コミュニティの充実

区分	委員意見・質問等
①②	施策概要に「子どもから大人まで」とあるが、地域コミュニティの充実のためには、誰もが参加しやすく参加の裾野を広げるよう、自治会や地域自治協議会に、中高生や大学生が参画する事が大切であるのではないか。
②ア	「伴走型支援」とあるが、用語が分かりにくい。
②ウ	「隣接する福知山市・丹波市」とあるが、2市に限らず、それ以外の隣接市町村との連携も必要ではないか。
役割分担	地域自治協議会の活動では、社会福祉協議会との連携が必要だと思うが、役割分担等についての記載が必要でないか。
施策指標 ②	目標値が37.3%とあるが、コーディネーターを育成しようとしているのなら、もう少し目標値を上げた方が良いのではないか。

【16】 まちを応援する関係人口の創出

区分	委員意見・質問等
①ア	「関係人口」とあるが、現在ほどのぐらいいの人数がいるのか。
①ア	情報発信等については、広報誌やケーブルテレビだけでは情報が行き渡らない。若い世代にも伝えるため、SNSなどを積極的に活用する必要があるのではないか。

②ア	「一部の地域との交流に限定されており」とあるが、SNS を活用するなど、若い世代も含めて、全ての人が情報を把握できる工夫が必要ではないか。
②イ	「東京あさご会やふるさと朝来会等」の「等」とあるが、その他にどのような団体があるのか。また人数はどれくらいなのか。
役割分担	「地域自治協議会は、地域間交流の窓口となって」とあるが、現状そうなのではないか。
政策指標 ①	「市外に住む人を交えた地域活動」とあるが、「関係人口」の言葉が入る方が分かりやすいのではないか。
政策指標 ①	関係人口の人数を指標にしてはどうか。人数把握については、把握しやすいよう、主催者（例：自治会、地域自治協議会、農業）を絞り、指標数値の設定をしたら良いのではないか。

【19】 地域みんなで安心できる子育て環境の充実

区分	委員意見・質問等
全体	施策名に「地域みんなで」とあるが、実施方針の中から読み取りづらい。
全体	子育てになると母親が主役のようになるが、父親の子育てを朝来市ではサポートしているというところもあえて特出しして記載してはどうか。
①ア	ファミリー・サポート・センター制度はどのくらい進んでいるか。開設する際は、市民が協力してつくっていきける仕組みが必要だと思う。
①イ	妊娠中のつわりがしんどい前期、働いていない方は預けられないという話はある。ファミリー・サポート・センター制度が進むと良いのではないか。
②ア	移住してきた人は朝来市での出産の流れが分からないので、市内で出産できないとしてもどこでできるか、また悩んだときに相談できる病院の一覧や相談先があると良いのではないか。
②ア	「あさごし子育てガイドブック」は、妊娠を望まれる方に向けた冊子でもあれば、全戸配布の方が良いのではないか。
②ウ	相談窓口について、窓口で恥ずかしくて行けない、日中は仕事となると相談遅れる事もある。AI チャットや夜間対応等があると相談しやすいのではないか。市民の方が相談しやすい仕組みが必要だと思う。
役割分担	円卓会議のような、行政・学校・自治協・家庭等一同に集まって話せる機会があると良いのではないか。学校と地域自治協議会が年間行事等を共有し、イベント等が被らないように調整できると子どもたちも参加しやすくなるのではないか。
施策指標	施設だけではなく、地域全体での安心が大切であることから、「地域全体で安心して子育てできている」という表現のほうが良いのではないか。

【20】いつまでも自分らしく活躍できる高齢社会の実現

区分	委員意見・質問等
①ア	「老人クラブ」とあるが、市の老人クラブに加入している団体のみを指すのか。現在、市老人クラブに加入している団体は66団体しかない。
①ア	朝来市シルバー人材センターとの連携が大切ではないか。
①イ	「新たな参加者の確保を支援」とあるが、高齢者に限定せず、子ども連れでの参加を可能とする等、対象の幅を広げてはどうか。住民同士の交流や、多世代交流にも良い取り組みになるのではないか。
②イ	冬場は高齢者にとって除雪が大変なため、空き家を改修する等、冬場に3世帯くらいが住める住宅を整備・確保してはどうか。
役割分担	「地域や地域自治協議会」とあるが、この場合は、自治会も大切であり、記載として見えるようにし、様々な団体を含めた表現が良いのではないか。
施策指標 ①	要介護認定を受けていない高齢者の割合ではなく、要介護認定を受けている高齢者の割合の方が分かりやすいのではないか。
施策指標 ②	現状値が分からない中で目標値が「75.0%」とされている。この設定で良いか。

【21】障害のある人の居場所と役割がある自立支援の充実

区分	委員意見・質問等
全体 ②ウ	「分け隔てられることなく」とあるが、「分け隔てなく」という表現の方が良いのではないか。 主語を朝来市として、文章を見直す方が良い。
①	「障害のある人の生活の支援」とあるが、「障害のある人への生活の支援」の方が分かりやすいのではないか。
①ア	相談支援専門員は不足しているのか。一人当たりの相談件数は国基準から比べたらどのような状況か。 「相談支援専門員の増員」とあるが、相談員の養成は考えないのか。考えているのなら、記載してはどうか。
②ア	「市内事業者と連携」とあるが、企業での障害者雇用を示しているのか。市内企業での障害者の雇用率は把握されているのか。
②ア	「環境整備や就労機会の充実」とあるが、事業者と障害者をつなぐコーディネーター等が必要ではないか。
②イ	「長期精神入院」とあるが、「長期精神科入院」という表現の方が良いのではないか。

②ウ	<p>「不当な差別的取扱い」とあるが、物への扱いに感じられ違和感がある。表現を改めた方が良いのではないか。</p> <p>また、差別という時点で不当であるため「不当な」という言葉は必要か。</p>
----	--

【25】日頃からみんなで備える災害に強いまちづくりの推進

区分	委員意見・質問等
①ア	建物の耐震性が不十分」とあるが、施設の老朽化により電気などの設備面でも機能しないことがある。設備等の機能確認の作業も実施する必要があるのではないか。
①イ	「食糧等の備蓄物資の確保」とあるが、市の備蓄するものか。期限が切れた物資はどのように使用しているのか。防災食に慣れる意味でも、防災訓練の時に活用をしてはどうか。
①ウ	「未加入世帯や聴覚障害者への伝達手段を検討」とあるが、安全安心ネットの登録人数は何人か。あさご安心安全ネットを防災情報の発信ツールとしても活用してはどうか。
①ウ	「災害情報が伝わりにくい人に対する災害時の情報伝達を確立」とあるが、どのように情報伝達を考えているのか。区で誰が伝えるのか等を決めていく必要があり、その伝える役の方に伝える情報伝達の方法の確立が必要ではないか。
①エ	「ため池の管理不足」とあるが、台風等においては水路の門を閉める等の地域での取り組みや、水路の管理も重要ではないか。
②ア	防災士については、増員することが重要ではないか。
②イ	地域防災計画について「未策定の自治会が多い状況」とあるが、どの程度の自治会が策定できているのか。
③ア	<p>「消防団員の確保」とあるが、現状は定員を満たしていないのか。また、団員の定年は決まっているか。</p> <p>団員の確保のためには、分団の区割りを変更しないといけないのではないか。</p>
施策指標 ①	安全安心は暮らしのうえでの要なので、目標値 36.8%はもう少し高い方が良いのではないか。
施策指標 ②	防災士の人数を指標として考えてはどうか。
施策指標 ②	地域防災計画の策定率を指標として追加してはどうか。計画策定の経過において地域防災力が強化されることにもつながる。

【30】暮らしを豊かにする公共交通の確保

区分	委員意見・質問等
全体	いまある公共交通を絶やさないために皆で使って保持しようという施策なのか。皆でいろんな交通手段を新たにつくっていかうという方向なのか。
①	テレビ番組で路線バスの旅がはやっているのに、ケーブルテレビでバス停から行ける観光施設や飲食店を紹介したりして、路線バスの利用促進につなげてはどうか。朝来市民は基本的に車移動だから、いったことがないところがたくさんあるのでおもしろい。
②	都市（神戸・大阪）と但馬地域をつなぐ公共交通といえば、鉄道と高速バスである。高速バスも公共交通の1つとして記載したほうが良い。但馬地域内でも高速バスを充実していくことも考えられる。
②	今あるものの利便性を向上するとしたら、鉄道は難しいのではないかと。それよりも、京阪神に行くのに便利な高速バスをもっと知ってもらったほうが良い。
②イ	北近畿豊岡道が延伸して、但馬空港までアクセスがよくなったことを現状に追記してはどうか。但馬空港から大阪で乗り継げば、東京行きも便利だ。
その他	仕組を考える必要はあるが、市役所の駐車場に車を停めて、バスや電車に乗り、公共交通機関の利用促進を図れるというサービスがあっても良い。

【31】対話による開かれた広聴の充実

区分	委員意見・質問等
全体	施策概要に「市民や団体との」とあるが、個人についての記載もあると良いのではないかと。個人の意見を吸い上げる仕組みがあり、常に意見が聞ける環境が必要だと思う。
全体	対話の場等で出た意見についての回答も、市民に共有するのが良いと思う。
①②	①②が重複している。これまでは市が主導で対話の場を作ってきたが、市民主体でも作っていけないか。市民発信で希望のテーマを出してもらおう等、企画段階から関わる様な市民との協働ができるのが良い。
②	あさご未来会議は継続されるのか。
②	まちづくりフォーラムとは何か。
②	まちづくりフォーラムはテーマが固いイメージがある。地域自治協議会をとおして出席依頼があるが、区長が出ている様な現状がある。広報の充実と誰もでも参加できるような仕組みが必要ではないか。
②	「参加者が一部の市民に限定」とあるが、開催されている取組の対象が設定されているなら、すみわけ等を記載した方が参加しやすくなるのではないかと。

③ウ	オープンデータは個人情報には注意しつつ、どう使うかが大切。活用方法まで市民に伝えられるといい。活用することでできる事を教えてもらえると市民は活用しやすい。
その他	まちづくりフォーラムの開催については、議会とコミュニケーションは取られているのか。

【32】伝えたいところに届く戦略的な情報発信の推進

区分	委員意見・質問等
全体	情報発信をする際、市全体で情報発信を一括する仕組みはあるのか。
②	市民に発信を求めるだけでなく、市民の発信を朝来市でまとめて発信する等、アクションしている市民を応援する仕組みの検討・工夫が必要ではないか。
②イ	「市民の主体的なアクション」とあるが、具体的にどういったことか。具体例を入れる等分かりやすい表現にするのが良いのではないか。
役割分担	事業実施方針とのつながりが分かりにくい。
施策目標	③目標値 300 件となっているが、朝来市のケーブルテレビは全戸加入しているのか。目標値は件数ではなく割合の方が分かりやすいのではないか。
その他	定例記者発表のタイトルだけでも市の動きがわかる。タイトルだけでも市民にも発信してもらえると良い。また、見逃すと後で発掘することが難しいので、今月の情報一覧等が発信されると見やすい。
その他	朝来市では CATV のためか、インターネットの接続の方法が難しい。民間のように簡単にならないのか。
その他	半年に 1 回等、市民が広聴・情報発信の在り方について評価する仕組みがあると良い。